

| | | | | | | | |
|------|-------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 博物館概論 | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 脊古 真哉 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 1 | 授業番号 | 1470 |

●授業のテーマ

博物館の概念・機能・歴史

●到達目標

日本の博物館の現状、博物館関係法規、博物館の歴史についての基礎的な知識を修得する。

●学習内容(授業概要)

博物館学芸員資格修得のための必修科目である。博物館に関する基礎的な知識の修得を目的とする。最初に、博物館法に基づく現在の日本の博物館制度について概観し、様々な博物館の在り方と機能について紹介する。次に、博物館法をはじめとする博物館関係法規を通覧し、社会教育施設としての博物館の位置付けを理解する。続いて、西洋社会における博物館の成立を踏まえ、近代日本での博物館の発達の歴史を概観する。なお、この科目は卒業のための要件ではなく、資格講座であるので、履修にあたって、積極的な受講態度を望みたい。

●学習内容(授業計画)

1. 開講にあたってー授業の進め方・成績評価、単位認定などについてー
2. 博物館の概念（1）ー社会教育施設としての博物館ー
3. 博物館の概念（2）ー日本の博物館の現状ー
4. 様々な博物館（1）ー種別・内容ー
5. 様々な博物館（2）ー設置主体・法的な位置付けー
6. 博物館の機能（1）ー博物館資料の収集・保管・展示ー
7. 博物館の機能（2）ー学芸員の役割ー
8. 博物館関係法規（1）ー社会教育法・図書館法との関係ー
9. 博物館関係法規（2）ー博物館法ー
10. 博物館関係法規（3）ー関連法規ー
11. 博物館の歴史（1）ー欧米の博物館発達史ー
12. 博物館の歴史（2）ー日本博物館前史ー
13. 博物館の歴史（3）ー近代日本博物館史ー
14. 博物館の歴史（4）ー戦後の博物館ー
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、前回の授業の内容の確認をすること。

事後学習として、配布資料の再読・確認を実施すること。

●成績評価方法・基準

学期末試験 70%、平常点 30%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『博物館を考える』、著者名：水藤真、出版社：山川出版社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

講義中に適宜指示し、資料を配布する。

- 履修上の注意
講義への出席を重視する。